

二〇一五年 五月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

さるべき業縁ごうえんのもよほさば、いかなるふるまひもすべし

たんにしよう

『歎異抄』

学校で残って勉強するが、結局友達としゃべってしまつて本末転倒ほんまつてんたう。体力増強と思ひ毎朝早起してランニングしようと思つたが、寒さと雨降り三日坊主。

何かをしようとおもつても、まわりの環境によつて志し半ばで全うまじできなかった経験をした人は多いのではないだろうか。

今月の言葉の意味は、「因縁次第では、人間はどのような行いをもしてしまうということ」です。仏教ではものがおこる直接的原因を因いんといい、間接的な原因を縁えんといいます。特に縁を強調するところに仏教の大きな特徴があります。

自分の意志が「因」だとすれば、状況・環境は「縁」。因のみならず縁をも視野に入れて考え行動することが大切です。「縁次第で何をしでかすか分からない」という弱さ。そして、「縁次第でもできてしまう」という無限の可能性。今月は宗祖降誕会しゅうそくごうたんえです。親鸞聖人の言葉を通して、その奥深い人間観を聞かせて頂きましょう。

今月の聖語

田たあれば田うれに憂うれへ 宅たくあれば宅たくに憂うれふ

むりようじゆきよう

『無量寿経』

現在高校生のスマートフォン所有率は八二%とされています。この三年間で約五倍になったとのこと。一日の平均使用時間は五時間で、女子高校生は平均七時間。学校に八時間、睡眠に七時間、三食・入浴などに二時間費やしても、それ以外はスマホ画面を見ていることになり、中にはネット依存おちいに陥る人もいて状況は深刻で、治療部門を設置する病院もあるほどです。

聖語の意味は、「田や家を持つている者は、それらをもつことのでかえて悩みがふえるということ」です。もたなくても悩みを抱えることにもなりますが、問題は所有の有無ではなく、際限なく求める自らの煩惱ぼんごにこそあります。問題の根本は自分の内にあるという自覚が、憂うれいを解決する第一歩。ブツダはそのように説きます。

スマート (smart) は賢いという意味ですが、スマートフォンの使い手である我々も、使い方や使用時間を考えて、スマートに使用したいものです。今月の花まつりに際して、賢者ブツダのお智慧ちえから学ばせて頂きましょう。